

共同活動支援の事例（事例4）

市町村名 : 網走市
活動組織 : 西部地区資源保全協議会
協定面積 : 3,732ha
地区の資源 : 開水路 75km パイプライン 112km 農道 152km

西部地区資源保全協議会は、農道や排水路等の地域資源の維持管理を行ってきた「道路・河川愛護組合」を核として設立されている。

共同活動の取り組みにおいては、これまでに培った農道・排水路のきめ細やかな雑草対策などの愛護活動に加え、地域住民等の協力を得て道路沿いの清掃活動などが実施された。

農村景観の取り組みでは、ヒマワリやナタネを作付けた「感動の径」^{かんどう みち}づくりや農道沿いの花壇造成などを行っている。

また、本地区は能取湖に近接しており、「農業と漁業の共存」も重要な課題と位置づけ、本対策に取り組んでいる。



排水路の草刈り作業



地域内河川へのサケのそ上



景観に配慮した作付け「感動の径」^{かんどう みち}